

## はじめに

いよいよ、高3生にとっては現役で大学受験を成功させられるかどうかの最後の分かれ道ともなりうる時期です。

皆さんの勉強は、うまく進んでいるでしょうか。大概の人が、そうは言えない状況にいると思われる。そのような状況にいる皆さんに、春期講習では、最後の基礎固めの授業も行います。(基礎と言ってあなどるなかれ、意外に基礎が出来ていない人は多いのです。)しかし、もちろん、春期講習だけで基礎が出来るようになるわけではありません。基礎が安定していない場合は、春期講習までにそれぞれが苦手な所は違うと思いますので、しっかり自習をしておいて、春期講習では、確認に使うくらいの実力で授業には参加してほしいところです。

それから、強化しておくと思いられる範囲を、集中して設定・指導しているのが春期講習ですので、是非、受験に必要な教科は、受講を検討して下さい。

「苦手なので受講しない。難しそうなので授業には出ない。」と考える人が毎年いますが、授業にも参加出来ない苦手な科目は、自分一人ではまず勉強することが少なくなる人がほとんどです。勉強出来る人にどんどん先を越されて、受験では到底通用しない学力のまま受験を迎えてしまうことが多いのです。特に、国語・理科・社会にそのような傾向が見られます。

自分一人ではあまり勉強しない人も、授業に参加していれば、何もしないよりは学力は上げることが出来るだろうし、そのうちにヤル気が出れば、クラスの中で上位に行くことも出来ます。先生が定期的に見てくれているので、アドバイスももらいやすいし、質問にも行きやすくなります。

メイン科目を強くするために英語・数学を受講するのはもちろん、自分一人で志望校に合格する程の成績まで勉強できるという自信がない場合は、受講をおすすめします。

今からは、出来る人でも無理をして勉強します。だったら、勉強が出来ていない人は、今、無理をしてでも勉強しないのであれば、結果は見えています。健闘を祈る！

高2以下の諸君は、まだ余裕のある春休みのうちに、勉強しておこう(苦手な分野は特に)。

早く出来るようになれば、後後、「時間が無い!!」と焦ることもなく勉強出来る。特に、志望校が高い人は、今のうちから良い成績を出せていると合格が見えてくる。現役で最難関大学に合格する人は、先生に出来過ぎて怖がられる成績を取る頃である。(NJより)

## ■新高3英語① ENP4 (ENPIV)

このセッションは、「Bタイプ」です。「A」と標記しているものとどう違うかと言いますと、そこでおこなう演習内容のタイプで分けているものです。レベルで分けているわけではありません。

Bタイプは記述系の問題を中心に演習するのに対して、Aタイプは客観式問題を中心に演習するという事です。

それから、「ENP」という名称についての説明を致します。巖丈志摩では、英語のセッションのタイトルに「ENP」と付くものがありますが、この「ENP」というのは、English Navigation programの頭文字をまとめたものです。英語の学習でパターン化できるものをそれぞれのレベルと対象に応じて数字で分けております。

具体的にそれらのものをお示ししますと、以下の通りとなります。

- ①「ENPⅠ」⇒発音・アクセントの必修の項目を示し、単語学習のオリエンテーションをおこないます。年によっては開講しません。
- ②「ENPⅡ」⇒英語の基礎構造となる基礎文法をお示しし、英文の構造把握の精度を格段にあげることを狙うセッションです。このセッションは集中タームに必ず開講します。また、レギュラータームの英語のセッションに参加する方には、必ず一回は受講して頂きます
- ③「ENPⅢ」⇒英語の文章を速読する為の速読法のオリエンテーションと、それを前提にした客観式の問題演習をおこないます。その際に、問題解答のパターンがありますので、それをお示しするものです。このセッションは、問題解法に習熟しておらぬ諸君が多いと見受けられた場合に、集中タームで開講します。
- ④「ENPⅣ」⇒内容としては、「要約」「説明」「下線部」の形式に関して、パタン的な処理法がありますので、それをお示しして、そのテクニックを具体的に適用する演習となります。今回初めてこの名称の下にセッションを用意しております。今回が初めての開講です。
- ⑤「ENPⅤ」⇒内容としては「解釈」をやります。このセッションは巖丈志摩では、未だかつて実施されたことがありません。と申しますのも、「解釈」というものは、パタン化することが難しいのです。ですので、「解釈系の問題でこれこれこのように処理すれば解答が叩き出せる」と豪語することは、なかなか勇気のいることとなります。ですので、このセッションはいまだ「幻のセッション」ということとなります。

・・・で、今回の春期セッションで初めて設定するセッションが、「ENP4」ということです。

このセッションの対象は、学力的に、一般の国公立大学の過去問は、頻出の形式のものであれば苦勞なく処理できる方ということになります。偏差値的には、65を超えている方ですと気持ちよく演習できると存じます。志望校的には、東大・一橋・難関医学部を志望している方ということになります。

この授業の一つの狙いは、前記しておくことですが、要約(説明)問題の処理法を中心に、東大・一橋・東外大など英語で骨のある問題を出題する大学を志望しておく諸君を対象として、そういう大学で出題される問題に通底する論点を描き出すことです。

ここで展開するシステムは、さらに、一般の難関国公立大学でも、とても気持ちよく使えて有効なので、有志の諸君の参加を歓迎します。

先ず、初講日にこれまで伝統的に出題してきた読解の問題を参加者の皆さんには演習していただきます。これは、このセッションに参加する諸君に、この20年近くに亘って必ずやらせてきたものですので、学力の「定点観測」ができるものです。満点は20点です。10点以上得点することが難関国公立大学合格のための基準になります。この試験を通じて御自身のレベルを確認して下さい。

その問題を基点にして、説明問題の基本演習を開始していきます。

## ■新高3英語②

前記の「Bタイプ」で説明し確認した論点に加えて、判断力を訊く問題を中心に、難関大学の入試問題を分析し、演習していきます。結果、この[Aタイプ]で演習する問題は、私大系の過去問が中心になります。

このセッションを通じて、長文読解の方法論を確認するとともに、実際に、このセッション内でそれを使用して問題を解いていきます。

対象は、早・慶を受験する新高3生の諸君ですが、新高3生で、東大・東工大などの難関国公立及び医学部医学科を志望する諸君にも積極的に受講を勧めます。

覚えていて損のないシステムをお示しします。

「私大入試」で求められておるのは、「判断力」です。一見「記述式」の問題であると思われる下線部訳出の問題も、分析すると、細かい判断力が求められておったりします。ましてや、その他の頻出形式である空所補充形式や内容真偽形式、更に私大の入試に特に頻出の「対照表現形式」などは、判断力があるか無いかで、大きく処理結果が分かります。

そういうことですので、この授業は、速読法の確認をメインのテーマに、判断の習熟をおこないます。早・慶を志望しておる諸君は勿論、早・慶を押さえに更に上を目指しておる国公立大学志望者の諸君も、ご参加を強く勧めます。レギュラー授業が開始されると、国公立大学志望者の諸君は、やはり記述系の演習が多くなり、長文系(それなりの速読力が求められる)の問題に触れる、少なくとも分析してくれる、授業に参加する機会が少なくなりますので、この春期で、一度体験してください。

長文問題を処理していく上で、必須アイテムとなる「速読」のオリエンテーションもおこなう予定。このセッションが活きるためにも、前記の「Bタイプ」のセッションと併せて受講することを原則、お勧めします。

## ■新高2英語 ※新規開講

上位国公立大学の入試問題を素材に知識の具を入れていきます。おいしい出汁はこちらで用意しておきます。見た目はあまり豪華ではないけれど、入試学力という料理の典型的な名品を作っていきます。

これからどんな英語をやるにしても基本になる英語料理です。ご堪能頂ければ幸いです。

## ■新高1英語 ※新規開講

これまで皆さんが取り扱ってきた文法や単語の総復習をし、新学期から始まる高1英語の授業に向けての準備をします。演習を中心に行い、抜けているところがないか確認していきます。必要があれば個別に問題を渡し、解説をします。中学英語と高校英語(さらには受験英語)の違いをお示しします。

## ■ENPⅡ ※春期のみ

### 巖丈志摩 English の「キモ」セッション

※今回このセッションは2レベルがあります。bの方は標準、#の方は応用です。前者は新規参加の高2・高3生を対象に、後者は、新規参加の高卒生を対象に致しております。ただ、学力によってこちらでお勧めを変える場合があります。

春期から巖丈志摩セッションにご参加される方及び巖丈志摩でレギュラー授業に途中から参加されている方に、今回特にお願いしたいのが、この E.N.P.Ⅱ (English Navigation Program level 2) の受講の件です。

この授業で指導される文法・構文エッセンスが、巖丈志摩の英語指導の中核をなしていきますので、是非受講して下さい。(既にこの English Navigation Program level 2 を今まで受講された方は、参加は、勿論不要です。)

対象は、2016年 前期から巖丈志摩の英語のセッションに参加予定の方です。(また、既に英語の通常授業に参加の方で、ENPⅡに参加したことがない方も対象)その方々には、繰り返しになりますが、必須セッションとさせて頂きます。クラブのご都合などで他の英語のセッションに参加できない方も、このセッションだけはご参加下さい!!

なお、今回このタイトルでセッションを2個設定しておりますが、この2個は内容が同じものです。ですので、ご都合の良い方のセッションを一つ受講すれば大丈夫です。

## ■受験数学 I A II B

この講座では図形絡みの問題の演習を行います。

図形と方程式の範囲というわけではなく、図形との融合問題の演習となります。

なので、I A II Bの全ての範囲が学習済であることが好ましいです。平面幾何の定理の確認なども行います。

レベルは典型問題レベルです。

持ち物は筆記用具とノートです。

## ■受験数学 III

春期講習では『いろいろな曲線』（2次曲線、極座標）の基本～応用を中心に進めます。

これで高校内容は一通り終了するので今後は単元を越えた様々な解法を考えながら入試に対応できる演習を心掛けましょう。

特に数IIIの積分計算は、少しでもいいので毎日触れるようにしましょう！

## ■新高2 数学 ※新規開講

この講座では数IIの微分について扱っていきます。基本事項からやっていくので、予習などは不要です。

持ち物は筆記用具とノートです。

## ■新高1 数学 ※新規開講

数Iの初めから、リード問題集を演習していきます。進学校の中にはすでに既習の内容もあるかも知れませんが、そのような方には復習セッションとしてご利用下さい。ただ、進度は早いので、間延びすることはないと存じます。受講生の学習力が高い場合は、ドンドン進みます。医学部志望者の方には特に受講をお勧めします。

## ■受験国語

春期講習は例年では読み方の基礎を学習する場としていますが、今年度は読み方の基礎については2月・3月のタームで既に授業を行いました。新たに国語に本腰をいれて学習する人のために春期講習の授業の中でも読み方の基礎は述べていきますが、それでは2月・3月のタームと重複したものになってしまう人が出てしまいます。そこで今年度の春期講習は例年よりもやや実戦を意識したものにします。

春期講習では、受験で問われるものの中でも易しめの文章・設問を扱います。もちろん枝葉末節を問うものではなく、今後の応用に段階に繋がっていくものを選定します。つまり、受験勉強の入り口に立っているかどうかをチェックできる場にしたいと考えています。春期講習で扱う文章が読めない・設問が解けないということがあれば、高校三年生の前期にその穴埋めをしなければいけないということが分かります。文章が読め、設問がしっかりと解けていれば、受験段階にスムーズに移行して良いというものです。

防衛医科大等までは半年と少し、センター試験まではあと10ヶ月、国公立試験までは12ヶ月を切っています。焦る必要はありませんが、高校三年生諸君においては、春期講習の段階では受験まであと1年ないということを肝に銘じ、意識高く学習してください。

## ■受験化学

受験において差のつきやすい化学をなるべく早く一周します。この講座は新学期の授業の延長であり、完結型の授業ではないので気をつけてください。1月からやってきたことをきちんと春休みに復習して授業に臨んでください。

## ■受験物理

春期では熱力学を扱います。

熱力学は出題パターンが受験物理の中だと、非常に少ない範囲となるので、この期に完成させましょう。演習を通じて、熱力学における基本事項の確認も行います。

レベルは1日目、2日目が基本～典型で3日目で少し応用的な内容に触れる予定です。

持ち物はノート(LPⅡも可)と筆記用具、必要ならば普段使っている参考書です。